会報 JAISA ジャイサ
2014 秋 第40号

今号のTOPICS

- 「第16回自動認識総合展」「自動認識セミナー」盛況のうちに終了
- 「第16回自動認識システム大賞」受賞作品発表
- 「自動認識技術者資格認定制度」のご紹介
- 「第12回自動認識総合展・大阪出展社募集

「第16回自動認識総合展」盛況のうちに終了

(一社)日本自動認識システム協会では、自動認識システム等に関する普及啓発を目的として、東京と大阪で「自動認識総合展」を開催している。東京で第16回開催となる今回は、93社・3団体の出展があり、昨年を上回る盛況の中、出展社各社の各種ソリューションシステムが多数展示され来場者様との商談が活発に行われた。

当協会　柵木会長
フジサンケイ ビジネスアイ 専務取締役　廣瀬 千秋 氏
経済産業省 製造産業局 産業機械課長　佐脇 紀代志 氏
(一財)流通システム開発センター 会長　林 洋和 氏
(公社)日本包装技術協会 専務理事　古屋 一 氏

93社・3団体の出展、盛況の開幕

去る9月10日、第16回自動認識総合展が幕を開けた。開催初日は、午前9時40分より展示会場である東京ビッグサイト東4ホール前で開会式を開催、ご来賓の方々や出展社の方々が集まった。

はじめに、当協会の柵木会長が主催者を代表して登壇し、挨拶を述べた。次に、ご臨席を賜ったご来賓の方々を代表して、経済産業省 製造産業局 産業機械課長の佐脇 紀代志様にご祝辞を賜った。

続いて、4名のご来賓の方々と当協会柵木会長とでテープカットを行った。

展示会場は、開会式の終了後、午前10時に開場。朝早くから、大勢の方々にご来場をいただいた。ご来賓の方々も、展示会場を一巡し見学された。

特別講演・記念講演・事例セミナー

開催初日の10時30分から、会議棟で特別講演を開演した。

特別講演1では、「ビッグデータと自動認識」をテーマに、国立情報学研究所 所長 東京大学生産技術研究所 喜連川 優 様とカルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)三竹 麻子様の、ご講演がスタートし、午後からの特別講演2では、「海外最新事例」をテーマとするご講演があった。

開催2日目には、記念講演として「QRコードが日本初となる欧州発明家大賞Popular Prizeを受賞」を記念して、受賞企業である(株)デンソーウェーブの柵木充彦社長様(当協会の会長)と原 昌宏室長様に、ご講演を頂いた。

JAISA 一般社団法人日本自動認識システム協会

会場内発表会場の様子

会場内発表会場の様子

また、「BT Spice」セミナーでは、前述の特別講演と記念講演に加え、2日目と3日目で合計7セッション14講演を実施、聴講者の皆様は他では聴けない貴重な事例セミナーに、真剣耳を傾けていた。

特別講演・記念講演・事例セミナーも盛況であった。

自動認識システム大賞

初日の午後5時30分から、会場を東京ベイ有明ワシントンホテル3Fアイリスに移して、第16回自動認識システム大賞の表彰式を開催した。まず、システム大賞表彰審査委員長で当協会の理事である慶応義塾大学の小沢愼治名誉教授が審査講評を述べた。

今回の応募作品数は13件、内訳は、バーコードが4件、RFIDが6件、生体認証が1件、カラーコードが1件、バーコードとRFIDの組合せが1件で、一般消費者に直接関係する分野での「安心・安全」や、社会的利便性や経済効果に繋がるシステムであった。応募作品は非常に優れた作品が多く、表彰審査委員会は難航したが、応募作品の中から、「大賞」1件、「優秀賞」2件、ご協賛を頂戴しております、「フジサンケイ ビジネスアイ賞」1件、「特別賞」1件を選考した。

大賞は太平洋セメント（株）が応募された、「センサーインターフェース付パッシブタグ型RFIDを用いたコンクリート構造物診断システム“WIMO®”」が、技術性、経済性、環境・社会・将来性の各項目において高く評価され受賞された。

優秀賞は帝人（株）、生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合と（株）ダイフクの共同応募の2件が受賞、さらに、フジサンケイ ビジネスアイ賞は、アイニックス（株）が受賞され、特別賞は、（株）マーストーケンソリューションが受賞した。

大賞、優秀賞、特別賞は当協会より、フジサンケイ ビジネスアイ賞はフジサンケイ ビジネスアイより、それぞれの賞状と目録が授与された。（6ページに受賞作品の内容を掲載）

講評を述べる小沢委員長

システム大賞受賞者とプレゼンター

システム大賞受賞者とプレゼンターの集合写真

多くの来場者で賑わう展示会場

第16回 自動認識総合展来場者数

展示会場では、93社3団体、合計250小間（昨年82社4団体230小間）、昨年を上回る出展があり、出展内容は数多くの新製品・新技術を用いた、最適なソリューション展示がされた。今回の展示会テーマは「あ! こんなところにも 豊かな社会を支える“自動認識テクノロジー”」とした。

今回の展示会の特徴として、昨年からの試みで皆様に好評価を頂いております出展社各社の事例「事例でわかる自動認識」を設置し最新の自動認識技術の具体例を紹介した。

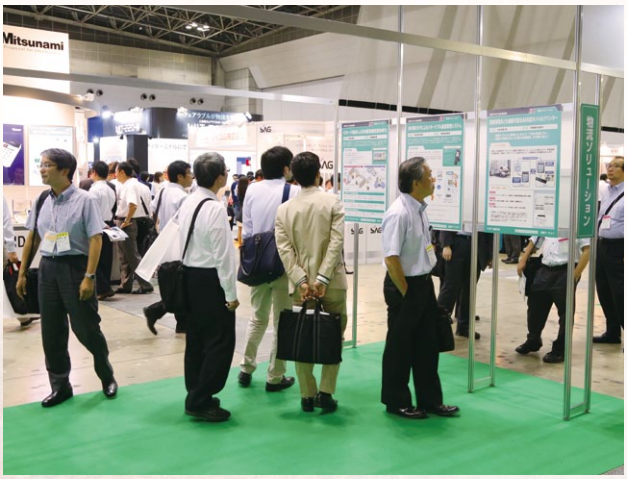
ゾーン展示では、従来からの「NFCゾーン」に加えて、先進の自動認識技術である「画像認識ゾーン」及び「センサネットワークゾーン」を設け、ご来場の皆様に最新の自動認識テクノロジーを身近に実感頂く事を目的に、コーナーやゾーン展示を行った。

また、展示会会場内の発表会場では、初日に、自動認識システム大賞受賞企業・団体の発表と当協会の統計調査報告が行なわれたほか、2日目・3日目には、出展企業のプレゼンテーションと当協会の自動認識基礎講座などを実施した。

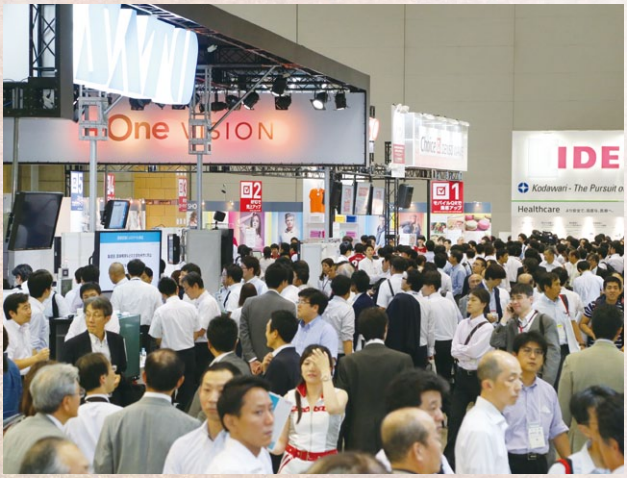
今回の来場者数は、初日が7,312名、2日目が8,166名、3日目が10,193名。会期中の総来場者数は、25,671名と例年を上回る盛況となった。

開催規模	93社 3団体 250小間
来場者数	25,671名（同時開催展示会相互入場含む）

「第16回自動認識総合展」たくさんのご来場ありがとうございました。



事例でわかる自動認識コーナー



会場内発表会場の様子

AUTOID & COMMUNICATION EXPO OSAKA
第12回 自動認識総合展 大阪

出展社を募集中!

当協会では、2015年2月19日（木）、20日（金）に開催する、「自動認識総合展 大阪」の出展社を募集しています。

本展示会は、関西で唯一の自動認識機器、ソリューションの専門展示会! です。前回の来場者数は、3,192名。来場者のうちおよそ90%の方が、関西地区からの来場であります。

出展社アンケートでは、出展社小間への訪問社数と商談に結び付く訪問者数ともに、期待した以上の回答が、一昨年比30%～40% UPの傾向にあります。

是非とも「自動認識総合展 大阪」にて、貴社製品のPRをご検討下さい。

皆様のご出展を心よりお待ちしております。

と　　き：2015年2月19日（木）、20日（金）［搬入日 2月18日］
と こ ろ：マイドームおおさか　1階展示場
主　　催：一般社団法人 日本自動認識システム協会
後　　援：経済産業省近畿経済産業局／大阪府／大阪市／大阪商工会議所（以上予定）
特別協力：フジサンケイ ビジネスアイ
協　　賛：一般財団法人 流通システム開発センター

出展対象

自動認識製品・技術

各種プリンタ（バーコード・二次元シンボル、RFID、カード、ラベル、モバイルなど）
各種リーダ（バーコード・二次元シンボル、RFID、NFC、カード、複合、ハンディ・モバイルなど）
各種媒体（サプライ、ラベル、RFIDタグ、インレット、NFC、各種カード、ZigBeeなど）
バイオメトリクス認証機器（静脈、指紋、顔、掌形、音声、など）、マシンビジョン、画像認識、OCRシステム

自動認識を活用した各種ソリューション

製造支援システム、流通・物流システム、
小売・卸業支援システム、トレーサビリティ、SCM、
イベント・アミューズメント支援システム、CRM、
セキュリティーシステム
医療・教育・図書館・運輸（鉄道、航空、港湾他）・金融・災害対策等の公共支援システム他

自動認識を活用するための技術・製品

ミドルウェア・プラットフォーム、スマートフォンアプリ、M2M、センサネットワーク、クラウドコンピューティング、画像処理、その他

出展料（消費税込）

一般小間

小間規格：1小間［間口3.0m×奥行2.0m×高さ2.7m］

種　別	一般小間	
	スペース渡し（間仕切りのみ）	パッケージ装飾付き
JAISA会員	194,400円	270,000円
非会員	216,000円	291,600円
含まれるもの	展示スペース、間仕切り（オクタノルム仕様）	展示スペースとパッケージ装飾（1小間につき）

パネル・カタログ小間

小間規格：1小間［間口2.0m×奥行0.5m×高さ2.7m］

種　別	パネル・カタログ小間
JAISA会員	86,400円
非会員	108,000円
含まれるもの	展示スペース、社名板、間仕切り（後壁、側壁0.5m）、カタログ展示用テーブル（白布）

出展申込締切

2014年10月31日（金）

問い合わせ先

展示会事務局　（株）シー・エヌ・ティ
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24-3 FORECAST 神田須田町4F
TEL. 03-5297-8855　FAX. 03-5294-0909
E-mail. expo_osaka@autoid-expo.com　http://www.cnt-inc.co.jp

自動認識技術者
資格認定登録制度のご紹介

～社会インフラとして様々な分野で活躍し、今後もさらなる発展が期待されている「自動認識技術」の資格試験～

当協会では2004年より、自動認識技術者の資格認定登録制度を実施しております。特に基本技術者資格においては、“業務経験に偏らない、幅広い知識の修得”や“基礎知識の再確認”そして“さらなるスキルアップ”に、また“社員教育・研修の一助”として、当協会の会員・非会員を問わず、多くの方に本資格認定登録制度をご活用いただいております。

目　的

自動認識技術やシステムの導入・改善などの技術的ニーズに的確かつ迅速な対処ができるよう、エンジニアリング業務・システム業務に従事する自動認識技術者の育成・増加のため、当協会が資格認定登録を行うものです。

資格のグレードと対象者

■基本技術者資格

新入社員、中堅社員、学生など、自動認識技術に関する基本的な知識の修得を目指す方。

■専門技術者資格（RFID専門技術者資格／バーコード専門技術者資格）

自動認識基本技術者として当協会に認定登録されており、より専門的な知識の修得を目指す方。

資格取得者の認定

資格取得者であることを証明するものとして、当協会が登録証（カード）および、登録証書（賞状）を発行します。また、ご希望の方には当協会のWebサイトで氏名を公表しております。

名刺に資格名と認定登録番号を表記して、自動認識技術に関する知識を有する資格保持者であることをPRするなどの活用方法もございます。

テキストの紹介

よくわかるRFID は、6月に最新の法規・規格に対応し改訂2版となりました。
（これらは書店または当協会Webサイトでも購入可能です。）

本年度の自動認識技術者資格認定試験

■第23回基本技術者資格認定試験

2014年7月18日［講習］、19日［講習・試験］
試験結果：受験者120名、合格者78名、合格率65.0%

■第24回基本技術者資格認定試験

2014年10月3日［講習］、4日［講習・試験］

■第9回RFID専門技術者資格認定試験

2014年11月6～8日［講習］、11月15日［試験］
（募集期間：10月9～28日）

※会員の方は受講・受験料の割引が受けられます

■基本技術者資格

当協会会員企業に所属されている方 …… 30,000円
非会員企業に所属されている方 …… 50,000円
講習を受講せず試験のみ受験される方 …… 10,000円

■専門技術者資格

当協会会員企業に所属されている方 …… 40,000円
非会員企業に所属されている方 …… 60,000円
直前回の受講者で今回は受験のみの方 …… 20,000円

他に、学生、テキスト不要の場合の料金がございます。詳しくは下記URLのご案内資料をご覧ください。
http://www.jaisa.jp/license/basic/pdfs/licenseform19annai.pdf

資格認定者数の実績

2014年9月末現在、自動認識技術者として資格認定されている方の人数は次の通りです。

基本技術者資格（第23回迄の実績）…… 累計 1,174名
RFID専門技術者資格 …… 累計 118名
バーコード専門技術者資格 …… 累計 27名

●お問い合わせ●
一般社団法人 日本自動認識システム協会 資格試験事務局
電　話：03−5825−6651
E-mail：license@jaisa.or.jp

試験の実施予定等の最新・詳細情報は当協会Webサイトにて公開しております。
URL：http://www.jaisa.jp/license/index.html

「第16回自動認識システム大賞」受賞作品

大　賞	センサインターフェース付パッシブ型RFIDを用いたコンクリート構造物診断システム「WIMO®」 **申請会社：太平洋セメント（株）**	RFID その他
優 秀 賞	UHF帯RFタグを用いた棚アンテナによる個品管理システム「Recopick®」 **申請会社：帝人（株）**	RFID
優 秀 賞	RFIDを活用したデジタルピッキングシステム「eye-navi」の開発 **申請会社：生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合／（株）ダイフク**	RFID
フジサンケイ ビジネスアイ賞	復興作業員の入退勤及び累積被ばく線量管理システム **申請会社：アイニックス（株）**	RFID スマートデバイス
特 別 賞	UHF帯RFIDを活用した不適切駐輪管理システム「ICycle」 **申請会社：（株）マーストーケンソリューション**	RFID

協会スケジュールご案内

第24回 基本技術者資格認定試験	2014年10月3日［講習］ 2014年10月4日［講習・試験］	早稲田大学理工学部
第9回 RFID専門技術者資格認定試験	2014年11月6日、7日、8日［講習］ 2014年11月15日［試験］	JAISA会議室
2015年 新春賀詞交歓会	2015年1月21日	JAISA会議室
第12回 自動認識総合展大阪	2015年2月19日、20日の2日間	マイドームおおさか

事務局だより

10月に入り過ごしやすい気候となってまいりました。会員の皆様にはいかがおすごしでしょうか。

天候不順だった夏が終わり、昼間の蝉の鳴き声が、夜の鈴虫の音へと替わる季節となりました。

この時期は、爽やかな風に高い青空、そして、どこからともなく甘酸っぱい金木犀の香りが漂い、秋を感じる今日この頃です。

この週末には、近くの公演を散策して、爽やかな秋を満喫しようと思います。会員の皆様も如何でしょうか。

さて、先月開催しました「第16回自動認識総合展」、本年も全国各地より、多くの皆様に来場をいただきまして、誠にありがとうございました。

今回の展示会も、出展社、後援を頂きました関係省庁・団体、特別協力企業等のご支援とご協力を得て、盛況のうちに終了いたしました。来場者は25,671名、併催セミナーも盛況に進み、ご来場を頂きました来場者様の自動認識技術に対する関心の高さを改めて実感致しましたが、展示手法、運営等では反省点が多々あります。出展社・来場者・協会内委員会等のアンケートをしっかりと見定めて、改善すべき点は改め、好評価を頂いている点は継続実施する等、次回の展示会につなげていきたいと考えております。今後も当協会事業活動に、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

（事務局：佐藤経一）

会報 JAISA　発行所：一般社団法人 日本自動認識システム協会　発行人：副会長・専務理事　西田浩一
事務局　〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-9-5 FKビル7階　TEL:03-5825-6651　FAX:03-5825-6653　URL:http://www.jaisa.or.jp